

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年 6月24日更新

事務事業名		給食費徴収事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育部	課長名	青木洋治
	施策	20	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	工藤哲生
	基本事業	63	食育の推進			所属班	学校給食班	(内線)	248-2102
予算科目	会計一般	款10	項6	目3	事業連番11567	法令根拠	学校給食費口座振替事務取扱要綱 学校給食費口座振替に係る個人情報等	成果優先度評価結果	⑨
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 24年度で終了 <input type="checkbox"/> 24年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 23年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	学校給食費口座自動振替手続き、未納対応等。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	児童生徒保護者から振替依頼書の取りまとめ、自動引落業者への引落依頼、未納者への催促等。
【主な予算費目】	時間外勤務手当、賃金、役務費、委託料、使用料及び賃借料
【意見や要望】	学校及びPTAから未納対策の充実が求められている。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)	合志市内全校児童生徒の口座引き落としを開始した。	25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 自動引落の開始及び未納通知の配布。新入生、転入生の口座振替手続き。未納対応強化。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) ア:新入生・転入生(A)の内、口座振替登録を行わない者(B)の割合%	予算の主な増減の理由 事務補助員雇用日数の減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	保護者	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) ア:全給食費額(A)中未能額(B)の割合。 %
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	給食費納入の利便性の向上による未納率の向上。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) ア:☆☆☆ 指標名が未入力です。指標名を入力してください ☆☆☆
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~年度
手集めによる給食費徴収から自動引落に移行した場合、他市町の例では、未納者が増加する傾向にあることから設定した。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	23年度実績(決算)	24年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	26年度予定	27年度見込	28年度見込
①活動指標	ア	%		0	0.2	0	0.15	0.1	0.1	0.1
	イ									
②対象指標	ア	%		0	0	0	0.01	0.01	0.01	0.01
	イ									
③成果指標	ア									
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	91	1,062	633	494	534	534	534	
	(A)事業費計	千円	91	1,062	633	494	534	534	534	
人件費	(A)のうち指定経費	千円	0	88	87	94	94	94	94	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	88	87	94	88	94	94	
	正規職員従事人数	人	7	3	0	3	3	3	0	
延べ業務時間	時間	3,244	2,000	0	2,000	2,000	2,000	2,000		
(B)人件費計	千円	13,099	8,076	0	8,076	8,076	8,076	8,076		
トータルコスト(A)+(B)	千円	13,190	9,138	633	8,570	8,610	8,610	8,610		

事務事業名	給食費徴収事業	所属部	教育部	所属課	学校教育課
-------	---------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						